

【今週の注目疾患】

— インフルエンザ —

今週（第50週）の定点当たり報告数は（2.74）と増加した。地域では市原（11.4）、松戸（4.8）、海匝（4.5）が多く、年齢では4歳以下が全体の21.6%、5～9歳が32.0%、10～14歳が17.0%を占め、依然低年齢層からの報告が多くなっている。千葉県の実地からの「迅速診断結果集計」では、A型478件、B型28件でA型優位となっている。全国（第49週）では、山口県（4.08）、福井県（3.88）、兵庫県（3.78）、山梨県（3.65）が多く、インフルエンザウイルス分離・検出状況（2008年～2009年シーズン 全国）は、A(H1)亜型41株、A(H3)亜型93株、B型58株が報告されている（病原微生物検出情報 12月17日現在）。

